

県環境森林部理事の挨拶

優良な産廃処理業者の認定制度創設 電子マニフェストの普及促進を

新緑の候、貴協会におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃から三重県の廃棄物行政に多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

先の東日本大震災では、甚大な被害がもたらされたところであり、被災者の皆様にはお見舞いを申し上げます。

本震災により膨大な災害廃棄物が発生し適正な処理が課題となっています。

今後、本県としても、被災県からの要請等に応じて必要な協力を行って参りますので、貴協会におかれましては格別のご協力をお願いします。

さて、今後、廃棄物の3Rの進展に伴い廃棄物排出量の減少が見込まれるなか、産業廃棄物処理業界ではより質の高い経営への取組も進められています。このような状況も踏ま



三重県環境森林部
理事 岡本 道和

え、本県では、産業廃棄物の適正処理を確保するため、優良な産業廃棄物処理業者の認定制度の創設や電子マニフェストの普及促進に取り組んでいくとともに、資源循環ビジネスの育成・活性化に向けて、バイオマスなどの利活用に関する検討等を進めていきたいと考えています。

本年3月には、廃棄物施策のマスタープランとなる「三重県廃棄物処理計画」を策定したところであり、今後とも、循環型社会の構築に向けた一層の取組を進めていくこととしております。

貴協会におかれましては、今後とも、本県の取組にご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

最後となりましたが、貴協会の益々のご発展を祈念いたしまして、新年度のご挨拶とさせていただきます。

東北大地震の被災者の皆様にお見舞い申し上げます

東日本大震災により犠牲になられた方々に衷心より哀悼の意を表します。また、災害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

当協会としましては、被災地における災害廃棄物処理に、環境省、三重県及び公益社団法人全国産業廃棄物連合会の要請に応じて、できる限りの協力をいたします。

社三重県産業廃棄物協会 会長 木村 亮一

第24回通常総会を開催

第24回通常総会は平成23年3月4日(金)、小雪の舞い散る中、約70名の会員が参加して開催されました。

上杉副会長の開会宣言のあと、木村亮一会長から「23年度は、公益法人改革に伴う一般社団法人の認可取得、協会設立20周年記念事業の開催、改正廃棄物処理法の内容の浸透、新規会員の増加」の4点を強調した挨拶がありました。議案は23年度事業計画(案)と同収支予算(案)が賛成多数で議決。生川理事が協会宣言を読み上げ、終了しました。



女流講師 古池^{りんりん}麟林さんの講演



通常総会のあと、女流講師の古池麟林さんから、「笑って元気」をテーマに約1時間ご講演いただきました。

古池さんは、上方講談師 旭堂南麟道場に3年間通い、平成21年春、南麟の「麟」の字をもらって、現在まで講談、ラジオのパーソナリティー、司会など活躍されている。講演ではそのときのエピソードを面白おかしく話され、最後に関ヶ原の合戦を控え、徳川家康の家臣の本多正信が豊臣方の加藤清正や福島正則を茶会に招き、茶の心得のない清正達のこっけいな振る舞いを熱弁されました。

平成23年度の事業計画

8つの方針

- ①公益法人改革に伴い、一般社団法人としての認可取得
- ②設立20周年記念事業の開催
- ③行政機関と協働して、産廃適正処理を推進
- ④廃棄物処理法に規定する優良処理業者の育成
- ⑤県、市町と連携して災害廃棄物応援体制の更なる充実
- ⑥不法投棄及び不適正処理根絶の促進および啓発
- ⑦家畜伝染病発生時に県、市町と協働して適正処理体制の確立
- ⑧会員のさらなる獲得並びに財政基盤のさらなる充実

4つの目標

- ①公益法人改革に伴い、一般社団法人としての認可取得
- ②設立20周年記念事業の開催
開催日：平成23年11月11日(金)
- ③行政機関と協働して産廃適正処理を推進
- ④廃棄物処理法に規定する優良処理業者の育成 新規10事業者

各委員会等の主な事業

- ・総務委員会：理事・委員長等の選考方法検討、協会表彰、新規会員の入会促進等
- ・適正処理委員会：電子マニフェスト研修、実務者研修会、初任者研修会、法令等説明会、不法投棄現地研修等
- ・広報調査委員会：広報誌「しろちどり」発行、ホームページの充実等
- ・福利厚生委員会：県内外先進事業所研修・意見交換会、安全衛生研修
- ・排出事業者部会：先進事業者視察、先進的環境取組事例発表会等
- ・災害廃棄物処理専門部会：災害廃棄物処理、訓練、協力会員の増強等
- ・優良業者評価制度推進専門部会：評価基準研修、相談会等
- ・医療廃棄物専門部会：適正処理研修等
- ・青年部会：独自事業の実施



平成23年度 収支予算骨子

★ 経常収益の部

・会費 29,460,000円
 ・事業 17,950,000円
 ・繰越金 37,000,000円ほか
 当期収入合計 84,410,000円
 (前年度より3,117,000円減)

★ 経常費用の部

実施事業等会計 9,348,000円
 (適正処理関係)
 ①産業廃棄物研修事業 2,891,000円
 ②災害廃棄物処理事業 1,663,000円
 ③不法処理防止事業 2,063,000円
 ④情報発信事業 2,731,000円
 その他会計 41,485,000円
 (マニフェスト、会員事業関係)
 法人会計 5,496,000円
 (総会関係)
 当期支出合計 56,329,000円
 (前年度より1,443,000円増)

最近の協会の主な事業実績

1月18日(火)	災害廃棄物処理情報伝達訓練	各地
1月26日(水)	電子マニフェスト導入研修会	四日市商工会議所
1月28日(金)	事務局責任者会議	東京都内
1月31日(月)	中部地域改正廃掃法説明会	名古屋市内
2月 4日(金)	安全衛生研修会	四日市商工会議所
2月 9日(水)	産廃更新収集運搬講習会	四日市商工会議所
2月16日(水)	賛助会員会議	協会研修会議室
2月18日(金)	第5回理事会	協会研修会議室
2月25日(金)	全国会長理事長会議	鹿児島市内
2月28日(月)	中部地域全体会議	名古屋市内
3月 4日(金)	第24回 通常総会	四日市商工会議所
3月 9日(水)	改正廃棄物処理法説明会	津市内
3月11日(金)	改正廃棄物処理法説明会	四日市商工会議所
3月23日(水)	臨時理事会	協会研修会議室
4月28日(木)	23年度第1回理事会	協会研修会議室